

# ほのかな光 胸躍る

## 水戸でホタル観賞会

身近な生きものに触れ、環境について学んでもらおうと、水戸市天王町の西の谷公園で13日、ホタル観賞会が開かれた。ホタルがぼつぼつと

ほのかな光を放つと、子どもたちは目を輝かせて光を追ったり手を伸ばしたりしていた。観賞会は「千波湖環境学習

会」の一環で、県環境管理協会と市が主催した。

子どもたちは観賞前にホタルクイズに挑戦し、ホタルの生態や、ホタルを守るためには人が環境を手入れする必要があることなどを学んだ。

夜8時ごろになると、水辺

に近い暗がりではホタルが舞い始めた。同協会は「ホタルは明るい所が苦手なので照らさないように」などとアドバイス。子どもたちは「きれい」「おいで」などうれしそうにホタルと戯れた。

同所では2000年ごろまで、ホタルが生息していたものの、公園開発に伴い減ってしまった。14年に環境活動を行う「逆川子どもエコクラブ」が中心となりホタルの再生に取り組み、今では50匹ほどのホタルが生息するようになった。

環境保全活動に参加している茨城大付属小4年の山田菜さん(9)は「順調に増えていて安心した。これからも環境を整えてホタルを守りたい」と話した。3年続けて観賞に訪れている笠原小6年の丸祐大さん(11)は「きれいでかわいい。去年より多かった」と声を弾ませた。

(荒木みなみ)



①ホタルクイズに答える子どもたち②子ども  
の手の上にとまったホタル＝水戸市天王町

いばらきワイド